

平成 20 年度温室効果ガス排出削減について

平成 21 年 7 月 10 日

総務部管理課

1. 【報告】平成 20 年度温室効果ガス排出量の実績報告について

平成 20 年度（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の温室効果ガス排出量の集計を行った結果、以下のとおりとなりました。（※「独立行政法人日本貿易振興機構がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出削減等のため実行すべき措置について定める実施計画」にて規定しているとおり基準年度を平成 18 年度としています。）

1) 温室効果ガス排出量内訳(単位：kg-CO₂)

	本部	アジア経済研究所	大阪本部	貿易情報センター	ジェトロ全体
平成 18 年度	997,846	945,254	40,752	209,132	2,192,984
平成 20 年度	918,587	845,968	39,027	188,522	1,992,104
削減量(平成 18 年度比)	-79,259	-99,286	-1,725	-20,610	-200,880
削減率(平成 18 年度比)	-8%	-10.5%	-4.2%	-9.8%	-9.1%

2) 電気使用量内訳 (単位：kwh)

	本部	アジア経済研究所	大阪本部	貿易情報センター	ジェトロ全体
平成 18 年度	2,675,711	2,568,624	113,833	458,618	5,816,846
平成 20 年度	2,676,170	2,495,482	115,466	419,079	5,706,197
削減量(平成 18 年度比)	+459	-73,142	+1,633	-39,539	-110,649
削減率(平成 18 年度比)	+0.01%	-2.8%	+1.4%	-8.6%	-1.9%

※アジア経済研究所設置の太陽光発電システムによって供給された電力の電気使用量は集計に含めていません。

3) 平成 20 年度実績報告について

平成 20 年度の温室効果ガス排出量については、平成 18 年度比 9.16% (200,880kg-CO₂) 削減となりました。平成 19 年度は排出係数の減少による削減が大部分を占めていたが、平成 20 年度は昼休みの照明消灯、空調設定の変更に取り組んだことにより、3.52% 削減 (平成 19 年度比) となり、平成 20 年度の目標である 1%削減 (平成 19 年度比) を大幅に上回って達成しました。

電気使用量についてはジェトロ全体で 1.9%削減 (平成 18 年度比) されていますが、本部、大阪本部では平成 18 年度より増加しているため、平成 21 年度についてはさらに

電気使用量削減に取り組む必要があります。平成 20 年度の電気使用量増加の主な要因は、職員数の増加にあると考えられます。

4) 平成 18・19・20 年度の実績数値の公表について

温室効果ガス排出削減計画では、「本計画の期間中、毎年度、本機構の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガスの総排出量の推計を行い、公表する。」となっているため、平成 18・19・20 年度の電気使用量及び温室効果ガス削減実績を公表する必要があります。公表については他法人の動向も見ながら行いたいと考えており、最終的には決裁をとったうえで公表を行います。

以上